

声とサクソフォーン、ピアノ「息の横断」

フランス、スウェーデン、そして海を越えて日本へ・・・

内外の新しい演奏家を、新しい音楽とともに紹介するヌオヴォ・ヴィルトゥオーゾ。今回はフランスで最も注目の若手サクソフォーン奏者ジェローム・ララン、昨年の日本音楽コンクール第2位に輝いたソプラノのメニッシュ純子、そしてミュンヘン、パリを経て、これからの活躍が期待されるピアノの杉崎幸恵。この3人の初競演でお届けします。

グリゼー、ルルー、エリアソン、野平一郎の日本初演に加えて、スウェーデンからはノーディングが初来日。日本人作曲家たちの新作とともに、フランス、スウェーデン、日本の音楽の今をご堪能ください。



Soprano
Menish Junko
メニッシュ 純子



Saxophone
Jérôme Laran
ジェローム・ララン



Piano
Yukie Sugisaki
杉崎 幸恵

プログラム (曲順未定)

- 小櫻 秀樹 (1970-) むかしむかしあるところにジェロッキオがいました・・・〈世界初演〉[soprano sax. solo]
- 鈴木 純明 (1970-) 赤と青の対句〈世界初演〉[sax., pf]
- ジェラルド・グリゼー (1946-1998) アヌビスとヌト～1983年3月に殺された我が友、クロード・ヴィヴィエの思い出のために～〈1990 日本初演〉[bass sax. solo]
- フィリップ・ルルー (1959-) 青々とした緑に覆われた所～ジェラルド・グリゼーの追悼に～〈1999 日本初演〉[mezzo soprano, soprano sax.]
- 堰合 聡 (1972-) 狂言〈世界初演〉[sop sax. solo]
- イエスパー・ノーディング (1971-) 火から生まれる夢〈2003 日本初演〉[alto sax. solo]
- ララン & ノーディングによる即興パフォーマンス [sax. solo, computer]
- アンダーシュ・エリアソン (1947-) 大地〈1983 日本初演〉[pf solo]
- 野平 一郎 (1953-) 舵手の書～吉岡実の詩による～〈2001 日本初演〉[mezzo soprano, alto sax.]
- 鈴木 治行 (1962-) 編み目 II 〈世界初演〉[soprano, soprano sax., pf]

2007年7月20日(金) 19時開演

(18時15分～作曲家によるプレ・トーク有り)

大田区民ホール・アプリコ小ホール
(JR京浜東北線「蒲田駅」東口より徒歩3分)

※ヌオヴォ・ヴィルトゥオーゾとは、2005年、パリで学んだ鈴木純明と、ベルリン在住の小櫻秀樹の二人の作曲家によって結成された音楽ユニット。豊かな音楽性と卓越した技術を持つ若い演奏家を、内外で活躍する作曲家の作品と新作とともに紹介し、新たな音楽の潮流を提示することを目標に、活動を続けています。

[入場料] 前売り2,000円 当日 2,500円

[主催・お問い合わせ] Nuovo Virtuoso事務局
nuovovirtuosos@yahoo.co.jp 090-8053-7070

[助成] 笹川日仏財団

[協賛] 〈東京の夏〉音楽祭

[後援] 野中貿易株式会社

スウェーデン大使館



〈東京の夏〉音楽祭



